



NHK「みんなのうた」で流れていた沖縄出身のボーカルデュオ D-51 の『忘れないよ』の歌詞です。初めて新しい命を迎えた時の気持ちを歌った歌。私たちはこうやって迎えられた命だったんだ。私たちはこうやって命を迎えてきたんだ。あらためて目の前の出遇いに、ありがとう。

公開同朋会

エレクトーンと法話の会 7月12日(第二土曜日)

13:00～勤行(一緒におつとめをします)

13:20～法話(住職・前住職のお話し)

14:00～Sono エレクトーン演奏

14:40～茶話会 **入場無料**

曲目(予定)

アンパンマンのマーチ

パイレーツ・オブ・カリビアン

系

ゴジラ 他

一台のエレクトーンから荘厳な楽曲が奏でられ、本堂いっぱいに音が広がります。どなたでも参加できます。ぜひお越しください!

2025 とくせんじ

夏休みこどものつどい

今年も、夏休みに徳泉寺こどものつどいを開催します。

今年は戦後80年。戦中戦後にこども時代を過ごした方から今のこどもたちに当時の様子を語っていただく時間を持ちたいと考えています。詳しくはメールか電話でお問い合わせください。

日 7月31日(木)

時	6:30	集合
	6:45	ラジオ体操
	7:00	朝のおつとめ
	7:30	朝ごはん
	8:30	そうじ
	9:00	自主学習
	10:00	お話しの時間
	10:45	すいかわり
	11:30	おわりのかい

対象は小学生以上 20名まで
(未就学児は保護者同伴のみ)

住職法話「正信偈より」

普放無量無辺光 無碍無对光炎王

阿弥陀仏の救いがあらゆる方向に向けられていることは光で表されています。その光は十二種類に分類されすべてに人々はすでにこの輝きに照らされています。このうち、「無量光」はどこまでも時間的に限りのない光。どの時代の誰にでも届く無限の光です。「無辺光」は際を持たない光。線を引いて分けていけない。分断を作らない光です。「無碍光」は遮られることのない光。碍とは壁になるもの。光と私の間になにか邪魔になるものがあると届きません。これが煩惱だったり善悪の判断だったり。しかし、阿弥陀の光はそういったものの全てを超えるのです。

前住職法話「歎異抄第二章より」

関東のご門徒が親鸞聖人を訪ねてはるばる京都へやってきたのは信心ということ、往生ということがはつきりしない、わからないということがあったからです。念仏は自分が称えるものだから、自分の思いを達成するためにある、と思いがちです。でも、そうではない。称名念仏、声に出して称える念仏は私が声に出した念仏を私が聞く、ここが大事なのです。修行をして浄土に生まれるのが仏教だとすると、力量のない人は浄土に行けない、ということになります。そうではなく、阿弥陀仏は一人も残さず救いたい、そのためにただ私の名前を称えなさい、私の願いを受けとめてください、と称名念仏に辿り着いたのです。

六月同朋会より